

第 2 編

創基 120 周年記念事業

第1章 記念行事

第1節 記念式典等

1 開催にあたって

本校は平成30年5月10日に創基120周年（高専51周年）を迎え、記念事業の一環として、平成30年10月20日（土）に記念式典等を本校第2体育館にて挙行了。

本式典等の開催にあたっては、平成30年7月豪雨により広島県内の交通網にも大きな被害があり、一時開催が危ぶまれる事態となった。延期あるいは中止も含めた検討を行ったが、バス等移動手段の手配を手厚く行うことで予定通りの日程で開催することとし、なんとか開催することができた。ただし、予定していた記念祝賀会は規模を縮小し、記念交流会として実施した。

2 校友追悼合祀式（11：00～）

式典等に先立ち、同日午前中に本校慰霊碑広場にて、校友会による校友追悼合祀式が執り行われた。

式には約60人が参列し、献花と黙祷の後、慰霊碑に追悼者の名簿を収めた。



3 記念式典（13：00～）

来賓、企業関係者、OB及び学生ら計約800

人が参加した式典では、本校辻校長から、「本校は120年の間に、諸情勢に応じて様々な変化をすることで対応してきた歴史がある。近年では国際化や地域貢献を求められており、確たる基礎知識と高い技術力、柔軟な思考力、創造的で問題解決型能力を有する技術者育成に全力を注いでいく。」との式辞があり、その後、文部科学省はじめ多くの来賓の方々から祝辞をいただき、最後に国立高等専門学校機構谷口理事長から来賓及び関係者への謝辞があった。

爽やかな秋晴れとなったこの日、多くの関係者と共に学校の節目を祝うことができた。



式辞を述べる辻校長

4 記念講演会（14：05～）

式典に続いて、同会場にて講演会を開催した。講師として日産自動車株式会社総合研究所長 土井三浩氏、本校OB 熊本県議会議員 吉永和世氏を招き、講演いただいた。

土井氏の未来を感じさせる最先端技術の開発や、吉永氏のエピソードを交えた在校時を振り返って感じることにについての講演は来賓及び学生等の好評を博した。



講演を行う土井氏（上）、吉永氏（下）

5 記念交流会（18：00～）

その後、竹原市グリーンスカイホテル竹原に会場を移し、記念交流会を開催した。会では、参加したOBら約100人が、旧交を温め、また企業と学校関係者の新しい交流の場となるなど盛会のうちに終了した。



交流会の様子



挨拶する望月校友会会長



挨拶する村上前校長

第2節 創基地整備（記念板作成）

本校の創立時にはまだ校舎が完成していなかったため、東野村小字矢弓2754番地の望月芳太郎氏宅を仮校舎として借り入れ、開校した。この仮校舎は建坪三十三坪程の面積で、板張りの床に机・腰掛け等を並べて、黒板もない中で授業が行われている。

この歴史を忘れないよう、記念板を作成・若潮寮正門に設置して平成30年9月22日（土）に除幕式を行った。



作成した記念板



除幕式の様子

第2章 記念誌の刊行

本記念誌の発刊は、「120周年記念事業」の一環として、2015（平成27）年10月26日に開催された総務・企画運営合同委員会において決定され、同年11月24日開催の「第1回創立百二十周年記念事業準備委員会」において、発刊を担う部署として「百二十周年史編纂部会（仮称）」が設置されたことに拠る。その後、本部門は「記念誌部門」と名を改め、部門内の関係教職員による協議を重ね、編集方針を定め、作業を開始した。事業名が異なるのも、本部門の名称と同様、準備委員会発足当時から、実働となった「創基120周年記念事業実行委員会」発足に至る過程での名称変更に伴うものである。

本校の記念誌は約20年ごとに発刊されているが、近年のものでは特に「八十年史」が創基当時の記録に詳しく、「百年史」はその「八十年史」以後の20年間の記録という性質が強い。それに倣い、今回の記念誌も「百年史」刊行後の20年間の記録という主旨のもと、編集・発刊することとした。基本的な体裁・書式も、「百年史」を踏まえている。

また、発行形態は書籍とし、寄贈や保管という面に関しての配慮を行った。

なお、編集・確認作業は以下の教職員が中心となったが、執筆に関する資料提供や直接の執筆作業においては、全教職員の尽力によるところが大きい。

担当
大山 博史（商船）
成清 勝博（電子）
岩切 裕哉（流通）
清田 耕司（広島丸）
前田 弘隆（一般）
平井 剛和（一般）
大沼 みお（一般）
柴山 慧（一般）
木下 恵介（商船）
岸 拓真（商船）
佐藤 正知（電子）
綿崎 将大（電子）
風呂本武典（流通）
加藤 博明（流通）
沖政 裕治（図書係）
奥本真里江（図書係）

記念誌部門（敬称略，所属は略称）

代表 山下 航正（一般）

学科責任者 小河 浩（一般）